

《 総 会 次 第 》

開会のあいさつ		委員会
議長選出		委員会
会長あいさつ		委員会
議 題 1、平成25年度事業報告について		(協議) 委員会
○各部から活動の報告		委員会
議 題 2、平成25年度収支決算報告について		委員会
議 題 3、会計監査報告		委員会
議 題 4、平成26年度事業計画案について		委員会
○各部から活動計画案の報告		委員会
議 題 5、平成26年度予算案について		委員会
議 題 6、「模範的な鹿鳴船の製作について」		委員会
議 題 7、役員改選について		委員会
○選考委員会の設置		委員会
議 題 8、その他		委員会



平成25年度活動の軌跡

《平成25年》

8月4日	第3回定期総会	ウェスター
8月28日	第4回広報部会	ウェスター
9月9日	第9回事業部会	ウェスター
9月10日	「鹿嶋さん」7号発行（全町回覧）	
9月17日	第6回三役部長副部長合同会議	ウェスター
10月9～10日	ウェスター祭り展示物制作会議	駅前町会館
10月9～13日	ウェスター祭り写真展	ウェスター
10月15日～11月29日	鹿嶋祭写真・資料展示ブース	秋田銀行新屋支店
10月16日	第7回三役部長副部長合同会議	ウェスター
10月20日	「鹿嶋さん」8号発行（全町回覧）	
10月22日	第3回制作部会議	ウェスター
10月28日	第10回事業部会議	ウェスター
11月16日	鹿嶋祭保存会座談会	ウェスター
12月14日	第4回制作部会議	ウェスター

《平成26年》

2月9日	調査研究部会	ウェスター
2月10日	第11回事業部会	すずらん
2月17日	第8回三役部長副部長合同会議	日吉神社会館
3月9日	第3回全体会議	ウェスター
3月15日	第9回三役部長副部長合同会議	ウェスター
4月5日	第5回広報部会議	ウェスター
4月10日	地域づくり交付金報告・説明会	ウェスター
	第6回広報部会	ウェスター
4月19日	第7回広報部会	ウェスター
4月21日	第12回事業部会	ウェスター
5月7日	第8回広報部会	ウェスター
5月10日	第1回鹿嶋船制作委員会	ウェスター
5月18日	太鼓練習日（中止）	日新小学校
6月8日	鹿嶋祭・新政酒造跡地鹿嶋祭PRイベント	新政酒造跡地
6月9日	鹿嶋祭イベント会場撤収、雄物川河川敷清掃作業	
6月24日	地域づくり交付金審査会	ウェスター
6月30日	第13回事業部会	ウェスター
7月3日	第10回三役部長合同会議	ウェスター
7月8日	第2回鹿嶋船制作委員会	ウェスター
7月10日	第2回理事会	ウェスター

7月18日	ウェスター祭り実行委員会	ウェスター
7月25日	新政酒造跡地会場設営	新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸
7月26日	あらや水祭り	新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸

新政酒造跡地活用推進協議会の経過

《平成26年》

4月8日	第1回打ち合わせ会議（準備会）	
4月21日	第2回打ち合わせ会議（準備会）	
4月28日	第3回打ち合わせ会議（準備会）	
5月3日	当番町南新町と鹿嶋祭保存会（準備会）との打ち合わせ会議	
5月11日	第4回打ち合わせ会議／推進協議会第1回役員会（協議会第1回設立総会）	
5月13日	新政酒造跡地現地調査（会場及び周辺道路調査、渡邊幸四郎邸展示会場調査）	
5月18日	当番町南新町全町打ち合わせ会議（小島会長、藤枝事務局長）	
5月22日	第2回役員会	
5月30日	地域づくり交付金申請手続き	
6月2日	新政酒造跡地草刈作業（新屋商店会）	
6月3日	旧渡邊幸四郎邸鹿嶋祭保存会写真展示	
6月4日	第3回役員会	
6月6日	6.8イベント会場設営	
6月7日	会場案内板等掲示板立て作業	
6月8日	鹿嶋祭及び「6.8鹿嶋祭PRイベント」	
6月9日	新政酒造跡地会場撤収作業	
6月8日～22日	渡邊幸四郎邸 あらら家、鹿嶋祭保存会展示期間	
6月15日	第4回役員会	
6月23日	秋田市議会新政酒造跡地現地調査／第1回ポスター、チラシ制作委員会	
6月24日	地域づくり交付金審査会	
6月25日	ポスター題字書道家訪問依頼	
6月28日	第2回ポスター、チラシ制作委員会	
6月29日	第3回ポスター、チラシ制作委員会	
6月30日	秋田西中学校吹奏学部出演依頼	
7月1日	第5回役員会	
7月5日	ポスター、チラシ仕訳、配布作業	
7月9日	進行係担当者会議	
7月14日	第6回役員会	
7月22日	第7回役員会	
7月25日	新政酒造跡地会場設営	
7月26日	あらや水祭り	新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸

はじめに

昨年8月4日、第3回定期総会（西部市民センター）を開催し、一年間の活動を総括し、事業計画案を決定し、今日まで活動を進めてきました。

具体的には、第1に、平成25年10月の西部市民サービスセンターの「ウエスター祭り」では、鹿嶋祭保存会の展示場において、全町鹿嶋船を中心とした「鹿嶋祭り写真展」と「鹿嶋祭り資料展」を催し、その後も秋田銀行新屋支店にて展示の機会を得ることができました。

第2に、平成25年11月には「鹿嶋祭り座談会」を開催し、有志4氏から鹿嶋祭の歴史や思い出、経験談と祭りに対する熱い思いを語ってくれました。収録を基に「座談会報告集」を発行し、会員及び全町配布を行いました。座談会で出された貴重な提言、意見を今後の保存会活動や祭りに生かしていくことを誓いあいました。

第3に、平成26年6月8日「6.8 鹿嶋祭PRイベント」、7月26日「あらかや水祭り」を開催し、新屋の新しい賑わいづくりの貢献しました。主催の新政酒造跡地活用推進協議会は、新屋振興会、新屋商店会、秋田公立美術大学、栗田養護学校、鹿嶋祭保存会（西部市民サービスセンターオブ参加）の新屋地域に関係する団体で組織され、「地域づくり交付金」制度を利用して取り組んできました。今後とも新政酒造跡地を拠点としたまちづくりの促進を目的とし活動を進めます。

第4に、「模範的な鹿嶋船の製作」について本格的なスタートをきりました。鹿嶋船制作委員会を中心に、ウエスター祭り（9月26日～28日）を完成目途に作業を展開します。「地域づくり交付金」制度を活用しながらの事業です。「模範的な鹿嶋船の製作」では、鹿嶋祭保存会の真価が問われます。展示用となるウエスターには多くのご来場者が見込まれることから、保存会の総意と英知と技術力を結集して進めていきます。

平成23年11月20日に鹿嶋祭保存会が発足して3年が経過しようとしています。事業部、製作部、調査研究部、実技部、広報部の5つの部会が掲げる活動目標にそって取り組んできました。保存会に課せられたテーマは多岐に及びます。鹿嶋祭の歴史の調査研究には多くの時間を要します。毎年のお祭りの催行には参加町内会の意思と情熱が傾注されると同時に、鹿嶋祭保存会との良好な連携と協力関係を構築していかなければなりません。

川口彌之助氏の「新屋の語り草」（昭和55年6月8日発刊）には、「幾百年の昔から、一ときも絶えることなく、流れ続ける湧水は、新屋に育った人々の忘れ得ない恵みの泉水である。」と記されて、さらには「水量がしだいに細くなってきたのが、何とも痛々しい限りだ。この湧水こそ、新屋のある限り涸れることのないよう願っている。」と結んでいます。

先人から受け継いだ素晴らしい「祭りの財産」と「自然の恵み」を今に生かし、鹿嶋祭の精神を生かしながら、新屋地域のまちづくり、ひとづくりに貢献できる保存会活動を目指してまいります。今定期総会での会員相互の真摯で有意義な討論を期待します。

議 題 1、平成25年度事業報告について

(1)ウエスター祭りについて

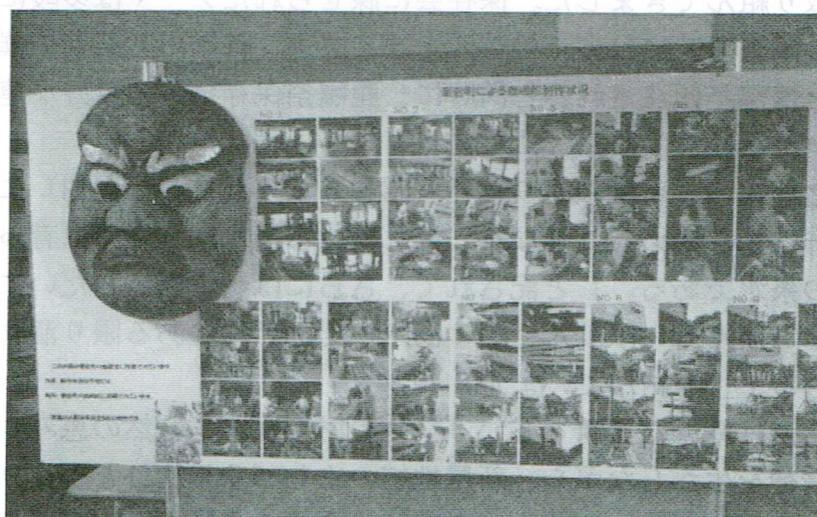
日 時 平成25年10月11日（金）～13日（日）

場 所 ウェスター

経過報告

平成25年10月11日～13日にわたり西部市民サービスセンターにおいてウエスター祭りが開催されました。鹿嶋祭保存会は2階フロアで次の展示物を掲出した。

- ① 平成25年度鹿嶋祭参加町内及び栗田養護学校から提出された写真。
(鹿嶋船の三方向から撮影、集合写真など)
- ② 愛宕町から代々伝わる鹿嶋の面を使用した藁の武者人形製作過程の写真が提供された。また、愛宕町からは「鹿嶋の面」が展示された。
- ③ 「鹿嶋祭の由来」(石澤久英宮司)のパネルボードをはじめ、「昭和の時代」の懐かしい、貴重な、興味深い写真の提供や鹿嶋祭に関する新聞記事、文献資料が提供された。
- ④ 鹿嶋祭の写真をDVDにまとめてTV画面で放映された。
- ⑤ 駅前町内会(高橋昭一氏)から、貴重な昭和の時代の動画ビデオが提供された。
- ⑥ 沖田町から平成25年度鹿嶋船の登載人形(ガチャピン)が提供され、ご来場者の人気を集め、記念撮影などに一役買った。
- ⑦ 展示にあたっては駅前町内会館が準備会場として提供を受けた。また、献身的な会員の協力によってパネル展示物が完成した。
- ⑧ ウェスター祭りの展示物はその後、秋田銀行新屋支店店内に展示された。
(展示期間 10月15日～11月29日)



(2) 鹿嶋祭座談会について

日時 平成25年11月16日(土) 14:00~16:00

場所 ウェスター

経過報告

- ① 新屋鹿嶋祭に古くから携わってきた新屋の方々(60歳代~80歳代)に集ってもらい、鹿嶋祭の昔(幼年期)から今日までの様々な思い出を語っていただくと同時に、鹿嶋祭と新屋の人々との生活の関わり、伝統行事が新屋地域の歴史と文化に及ぼした影響などについて語っていただく。
- ② 鹿嶋祭保存会として歴史と伝統を受け継ぐと同時に、移り変わる時代背景の下で、今後の保存会活動への提言をいただく。
- ③ 座談会には、大門勲氏(上表町)、大塚正一氏(緑町)、今野正人氏(下表町)、黒澤正弘氏(比内町)の4氏が出演し、約2時間にわたって各町内会の鹿嶋祭特に鹿嶋船や登載人形の製作課題における課題や成果、祭りへの参加状況と今後に引き継ぐもの等について大いに語っていただいた。
- ④ 平成26年3月「鹿嶋祭座談会」報告集が完成した。報告集は、参加町内会及び栗田養護学校に配布、回覧した。また、ウェスター展示場にも置いていただき広く広報活動に努めた。



《「鹿嶋祭座談会報告集」制作における参考資料》

1. 事務局では、「鹿嶋祭保存会座談会」の録音を原稿化し、パネラーと2回にわたる校正作業を経て、2月下旬完成、印刷作業(秋田中央印刷)に移りました。単価100円×600冊=60,000円、値引き後、50,000円。(単価83円)
2. 報告集制作の収支について、予算を4万円(2/17三役部会合同会議)としていた事から、1万円の不足金が発生しました。そこで、第3回全体会議参加(3/9開催)の会員に対してカンパのご協力をお願いしましたところ、38,700円が集まりました。(会場カンパ目標額 300円~)
3. 完成した「報告集」は以下の通り配布しました。①全会員に1冊(74

冊)、②鹿嶋祭参加町内会に、班数(394冊)を基準に配布します。③栗田養護学校に10冊、④その他(100冊)、日吉神社(30冊)及びウエスター(50冊)に備えます。事務局で22部を保管します。

4. パネラーへの記念品については事務局で協議し贈呈しました。

(3)第3回会員全体会議について

日時 平成26年3月9日(日)15時~18時

会場 ウェスター

討議内容

議題 1、「鹿嶋祭座談会報告集」の完成報告

議題 2、各部の活動計画について

(事業部)「写真展」「座談会」の開催

(広報部)鹿嶋祭のDVDを製作し各町内・部会に配布。

インターネットにて配信。

地域づくり交付金制度の活用(収支報告)

(製作部)

「模範的な鹿嶋船の製作」と展示を目標に取り組む。

(実技部)鹿嶋祭りに向けた実技指導

日吉神社の太鼓練習期間に各町内代表、子供会に呼びかけて鹿嶋祭の唄、太鼓の指導。

(調査研究部)

鹿嶋祭のルーツを探る研究を行っていく。

プロジェクター、調査研究成果をDVDに収録



(意見交換)小野均会員から「秋田市無形文化財としての登録指定」に関連した発言があった。「国際教養大学で秋田民族芸能300以上を集めた2分間の「アーカイブス」を見たが、川尻、檜山鹿嶋祭はあったが新屋鹿嶋祭がなかった。他の鹿嶋祭はお囃子が統一しているぐらいで、他の地域の鹿嶋祭に引けをとらない新屋の船や祭りである。なぜ新屋鹿嶋祭が入っ

ていないのか質問状を出したらどうか。」と意見があった。関連して渡辺憲一会員からも「保存会等の組織の有無が背景にあるのではないか」の質問があった。金澤國太郎調査部長から「鹿嶋祭は芸能ではない。太鼓、お囃子がしっかりしているところが文化財指定となっている。新屋鹿嶋祭には一時、太鼓がない時期があったことから指定されていないのではないか。」との説明がされた。富田副会長（座長）からは「文化財指定については今後の課題として議論していく」と回答がされた。

議題 3、「模範的な鹿嶋船の製作と展示活動」について

【鹿嶋船製作に至るまでの経過報告】

- ① 藤枝隆博総務から「新屋鹿嶋祭保存会」（平成23年11月20日）して以降、「製作部の活動の目標」の一つに「模範的な鹿嶋船の製作」が掲げられた。
- ② 「製作部会」は、平成24年～25年間、各町内の鹿嶋船の写真収集と古い写真の提供を町内に要請した。また、残されている文献、資料の収集を行なってきた。
- ③ 最も一般的、標準的（最大公約数的）な「鹿嶋船」の形を研究（勉強）することを当面の目標とした。「模範的な鹿嶋船」のデザインは制作部に一任した。
- ④ 平成25年、国立歴史民族博物館所蔵の「鹿嶋船」「図面」を入手した。また、デザイン画について柘谷博英氏（会員）に依頼し、基本的なデッサン画が完成した。製作部では、これらを「最も模範的な鹿嶋船」と位置づけた。
- ⑤ 保存会では、製作部会の「模範的な鹿嶋船の製作」について報告を受けた。同時に、「鹿嶋船の製作には、保管場所の確保と展示方法」「製作における財政的裏付け」について決定しなければ着手できない旨の問題提起がされた。



⑥ 展示場所の候補は次の通り

(1) 日吉神社境内

(ア) 日吉神社境内（実物大を前提）

(イ) 日吉神社境内であり他の建物との調和と景観を損ねない建物、展示倉庫としての配慮。

(ウ) 官司及び神社側（氏子総代会等）の承諾

(エ) 建設費と資金調達の方法

(2) 西部市民サービスセンター2階展示場

(ア) 西部市民センターとしての配慮(「西部地区民族芸能の展示会場一との事前折衝(2/14、2/28)と三役面会(3/5 15:00)

(イ) 地域づくり交付金の活用(製作費)と資金カンパ

(3) 新政酒造跡地(展示倉庫)

(ア) 跡地利用の方向性(新屋振興会、秋田市議会の動向)

(ウ) 西部市民サービスセンターからの指導

(エ) 鹿嶋祭(平成26年6月8日)にあわせたイベント

(オ) 新政酒造跡地活用を視野に実行委員会の設立計画

以降は、議題6「模範的な鹿嶋船の製作について」で提起します。

議題 4 「鹿嶋祭PRイベント」について

日時 平成26年6月8日(日)

討議資料

(1) 西部市民センター発案「鹿嶋祭PRイベント」

(2) 2/27「準備会議」の報告

小島初男事業部長から「鹿嶋祭PRイベントについて」報告を受ける。

(3) 参加団体(新屋振興会、新屋商店会、鹿嶋祭保存会、美術大学チャプチャプ大学、)

(4) 鹿嶋祭当番町(南新町)と鹿嶋祭保存会との懇談会(イベント協力要請)

(5) 「2014年鹿嶋祭ポスター・チラシ」製作に向けて

「あらら家プロジェクト」代表 永沢碧衣さん(秋田美術大学)に依頼。

(6) 「新屋まちづくり基本構想作成ワークショップ」へのアプローチ

全体討論の結果、事務局より次の集約がなされた。

① 「鹿嶋祭PRイベント」を実現させる方向を確認する。

② 実現に向けて関係団体との早期実行委員会の開催を図る。

③ 当番町南新町には負担をかけず、参加町内会から協力員等を募り実行委員として協力員を派遣していく。

④ 鹿嶋祭参加町内会にはイベントの趣旨を説明し、巡航経路に新政跡地イベント会場に立ち寄ることを要請していく。

⑤ 「6.8鹿嶋祭イベント」を「新屋まちづくりとにぎわいづくりのイベント」として位置づけ、楽しみ、交流する一日とする。

⑥ 「新屋まちづくり基本構想作成ワークショップ」(新政酒造跡地活用)との関連で鹿嶋祭保存会もその一翼を担って行くが、議会の動向(予算化等)もみながら対応していく。

(4)平成26年度鹿嶋祭について

日時 平成26年6月8日(日)

会場 日吉神社及び新政酒造跡地

祭典報告

6月8日、初夏の爽やかな天候に恵まれる下、新屋の伝統のお祭りである鹿嶋祭が行われました。今年の当番町は南新町が大役を務められ、栗田養護学校、20町内会が参加しました。

各町内の鹿嶋船には子供たちの数だけ鹿嶋人形が乗せられています。さらに趣向を凝らした人気アニメの登載人形が配置され、「無病息災」「交通安全」「スポ少優勝」等の願をかけた短冊が鹿嶋船のぐるりを飾りました。町内を出発した鹿嶋船は日吉神社に参拝し、神主さんからお祓いを受けてから地元に戻りました。

今年は新政酒造跡地において「鹿嶋祭PRイベント」が同時開催され、15町内会と栗田養護学校の鹿嶋船が新政跡地を訪れました。会場には新屋商店会、栗田養護学校、あらやちゃぷちゃぷ大学、あらや家プロジェクトの秋美生による湧水を使用したカルピス、アイスコーヒー、コーヒーフロートのほか「アネヘラアイス」(パパヘラアイス)がふるまわれ、集まった参加者、子供たちの喉を潤しました。

かねてから「鹿嶋船が一堂に集まることはできないか」という長年の悲願を実現できた瞬間でもありました。次々に集まった鹿嶋船から鹿嶋太鼓が一斉に鳴り響き、会場に集まった参加者や見物人から拍手を浴びておりました。

鹿嶋祭保存会は新政酒造跡地活用推進協議会の参加団体として準備に当たりましたが、今後とも鹿嶋祭の歴史と伝統と守りつつ、新屋の賑わい拠点づくりに汗を流すことができました。



(5)「あらや水祭り」について

日時 平成26年7月26日(土) 15:00~20:15

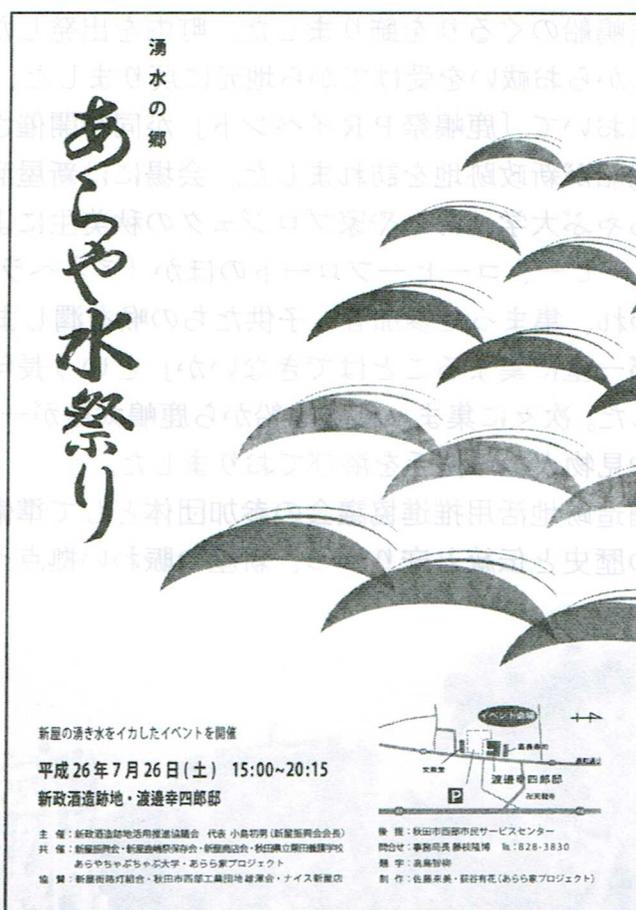
会場 新政酒造跡地及び渡邊幸四郎邸

主催 新政酒造跡地活用推進協議会(参加団体 鹿嶋祭保存会)

概要 ~湧水の郷~ 新政酒造跡地で開催「あらや水祭り」

新屋を盛り上げる夏のイベント「あらや水祭り」が新政酒造跡地と渡邊幸四郎邸を会場に開催されました。

協賛金 6月4日鹿嶋祭保存会緊急三役会議を開き、同協議会への協賛金1万円を決定しました。



○表町通りで打ち水

表町通りで一斉に湧水を活かした打ち水を実施。温度低下の効果を測定しました。

○まちなかコンサート

秋田西中学校吹奏楽部、国文祭で活躍が期待される地元アーティストのライブパフォーマンスを行いました。

○新屋竿燈会演技

新屋竿燈会の実演、ふれあい竿燈を行いました。

○公立美大・小牟禮教授(ものづくりデザイン専攻)が制作したガラス器の抽選会を行いました。

○かき氷の早食い大会、流しソーメンなどのアトラクションを実施。

○秋美生のカルピスとワークショップ

秋美生「チャプチャプ大学」の湧水カルピス、アトリエ「あらら家」の団扇手作りワークショップ。

○喫茶「くりの木」(栗田養護学校)

湧水を利用したかき氷、飲みもの、玉コン販売。○キャンドルナイト
家にあるろうそくを会場に持ち寄って水まつりのフィナーレにみんなで明りを灯しましょう。

○ 秋美生、百三段の会、女神輿の会 の皆さんによる出店があり、ビール、焼き鳥の販売、地元野菜などの販売、ババヘラ(アネヘラ) など楽しい出店となりました。

(イベント内容は別紙にて報告します。)

(5)「模範的な鹿嶋船の製作」について

～鹿嶋船製作委員会の資料参照～



2014/06/08

議題 2 平成25年度収支決算報告について

平成25年7月1日～平成26年6月30日

収入総額 473,620円
 支出総額 391,313円
 差引総額 82,307円

収入

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	67,758	67,758	0	
負担金	66,000	66,000	0	3000円×22
会費	65,000	77,000	12,000	3,000×2、1,000×71
寄付金	0	38,764	38,764	座談会報告集作成
雑収入	200,010	224,098	24,088	懇親会会費、交付金繰入、利子等(11円、7円)
合計	398,768	473,620	74,852	

支出

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	220,000	235,188	15,188	総会費、理事会等
事務費	50,000	15,645	△34,355	印刷、通信等
部会活動費	110,000	118,212	8,212	講演会、ウェスター祭、会報等
予備費	18,768	22,268	3,500	鹿嶋祭当番町へのお祝酒等
合計	398,768	391,313	△7,455	

総収入:473,620円－総支出:391,313円＝残金82,307円(次年度への繰越金)
 残金内訳:預金60,938円、現金21,369円

議題 3 平成25年度 会計監査報告書

平成26年7月10日、鹿嶋保存会の関係諸帳簿及び貯金通帳等証拠書書類について監査の結果いづれも適正に処理されていることを認めます。

新屋鹿嶋保存会会計監事

小野良治
 渡邊憲一



平成26年7月10日.
 鹿嶋保存会
 会長 伊藤 富美雄 殿

平成25年度 交付金特別会計 決算

平成25年7月1日～平成26年6月30日

《収入》

項目	予算額	決算額	差引	備考
秋田市補助金	¥152,000	¥152,000	¥0	地域づくり交付金＝8月に納金
繰入金	¥418	¥0	¥-418	会から繰り入れ
合計	¥152,418	¥152,000	¥-418	

《支出》

項目	予算額	決算額	差引	備考
①ホームページ作成	¥20,000	¥20,000	¥0	
②印刷費	¥29,138	¥0		ポスター印刷＝平成24年度に支出済
③備品	¥8,500	¥8,500	¥0	幟旗(4本)
④備品	¥93,500	¥100,000	¥6,500	スタッフ半纏(8着)
⑤記録保存経費	¥1,280	¥0		唄と太鼓のCD作成＝平成24年度に支出済
合計	¥152,418	¥128,500	¥-23,918	

収入総額 ¥152,000円
 支出総額 ¥128,500円
 差引残高 ¥23,500円 = 一般会計に繰り入れ

新屋鹿嶋祭保存会

議題 4 平成26年度事業計画 について

新屋鹿嶋祭保存会

(1)スケジュール表

年	月	日	曜日	事業内容		
平成26年	7月	3	木	第10回三役部会長合同会議		
		8	火	第2回鹿嶋船制作委員会		
		10	木	第2回理事会		
		18	金	ウェスター祭り実行委員会		
平成26年	8月～10月	26	土	あらや水祭り		
		27	日	第4回定期総会		
				<ul style="list-style-type: none"> ○各部会議の開催 ・部長・副部长などの選出 ・会員の部会所属の把握 ・各部年間計画と活動の具体化 ○鹿嶋船の製作に集中(～9月21日) ○ウェスター祭り鹿嶋船、写真展(9/26～/28) ○会員拡大の目標設定と勧誘行動(一町内会五人会員化) ○「鹿嶋さんニュース」定期発行(年4回) 		
平成26年	11月～12月			<ul style="list-style-type: none"> ○三役会議(部会合同会議) ○会員全体会議の開催 ・各部活動の交流 ・地域活性化づくり交付金に向けて ○忘年会 		
		平成27年	1月～3月			<ul style="list-style-type: none"> ○新年会 ○新屋郷土会新年会(東京) ○新政酒造跡地活用推進協議会との打ち合わせ ○三役会議(部会合同会議)
平成27年	4月～6月					<ul style="list-style-type: none"> ○当番町との懇親会 ○鹿嶋祭に向けての具体的な準備(鹿嶋祭での取り組み) ○会員拡大の目標設定と勧誘行動(町内会総会) ○6月14日鹿嶋祭 ○他地区の鹿嶋祭視察
				平成27年	7月～	

(2)各部の主な活動目標について

事業部	<p>地域づくり交付金を活用して縮小版鹿嶋船の製作と常時展示の完結。 将来的には実寸大の「模範的な鹿嶋船」の製作と展示場の確保。 新政酒造跡地活用推進協議会参加と保存会PR活動及び跡地利用の実績づくり 美術大学大学生との交流と鹿嶋祭への参加支援、保存会勧誘。</p>
広報部	<p>保存会活動を会員及び新屋地域などに広報宣伝活動に関する事項 「鹿嶋さん」発行、その他宣伝媒体方法 新屋振興会、新屋地域の各団体への広報活動 ホームページを利用した広報活動の充実(デジブック) 地域づくり交付金を利用したのぼり旗、半纏の作成</p>
調査研究部	<p>鹿嶋祭に関する歴史、祭事、慣習などに関する事項について調査、研究、発表など行う。 秋田(百段)に伝わる土着神(道祖神)と鹿嶋祭さんの関連。 子供たちの息災祈願と鹿嶋祭のつながり 土着神(藁人形)が、武者人形に(紙人形)になった経緯。 笹巻・かしわ餅と鹿嶋さんのつながり 鹿嶋祭のルーツについて、史実に基づい時系列に体系化し、保存会の資料作成 子供らの息災を祈願する祭りを誇りとして、伝統行事を内外にPR、町おこしの活性化。 長期的活動として秋田市の無形文化財登録を目指す。</p>
実技部	<p>会員に「歌」「太鼓」などの歌唱及び演奏指導を行う。(合同開催及び個別指導) 新政酒造跡地での太鼓の競演演奏。 「デモテープ」「CD版」の製作、普及。 「演奏会」「発表会」などコンクールの開催</p>
製作部	<p>「模範的な鹿嶋船の製作」とウェスターへの展示 鹿嶋人形、鹿嶋船、その他祭りに関する製作物の調査・研究を行う。 各町内会の鹿嶋人形、鹿嶋船など製作物に関する調査・研究・交流・指導を行う。 鹿嶋船、鹿嶋人形の歴史的意義、時代の変化など調査・研究、発表。(調査研究部の企画運営と関連性)</p>
総務	<p>理事会の定期開催 三役部会長副部会長会議の開催 保存会会員の100名拡大目標(一町内5名以上の複数会員拡大) 若い会員及び女性会員の獲得。(子供会、父母会員) 健全な財政基盤の確立に向けて</p>

各部から活動の報告(経過・計画)

新屋鹿嶋祭保存会

「平成25年度事業部会まとめ」

平成26年7月4日

事業部長

小島 初男

活動報告：

第3回通常総会 平成25年8月4日 事業部会員出席
第9回事業部会議開催 平成25年9月9日 第8回事業部会議事録承認
鹿嶋祭保存会三役各部長副部長合同会議 平成25年9月17日 事業部代表出席
写真資料展 ウェスター祭りに準備・参加 H.25.10.9~H.25.10.14 事業部代表参加
鹿嶋祭保存会三役各部長副部長合同会議 平成25年10月16日 事業部代表出席
第10回事業部会議開催 平成25年10月28日 第9回事業部会議事録承認
鹿嶋祭保存会座談会 平成25年11月16日 事業部代表参加(開・閉言葉・受付)
第11回事業部会議開催 平成26年 2月10日 第10回事業部会議事録承認
鹿嶋祭保存会三役各部代表者会議 平成26年2月17日 事業部代表出席
第3回会員全体会議 平成26年3月9日 事業部会員出席
第12回事業部会議開催 平成26年4月21日 第10回事業部会議事録承認
第1回新屋鹿嶋船制作委員会 平成26年5月10日 事業部制作委員出席
(鹿嶋祭PRイベントに 平成26年6月8日 保存会が参画)
第13回事業部会議開催 平成26年6月30日 第10回事業部会議事録承認

総括：

第3回通常総会後平成26年6月迄に事業部会議を5回開催し、他の会議にも全出席。
鹿嶋祭保存会主催の写真資料展をウェスター祭と秋田銀行新屋支店の開催に参加し好評を得た。(1/2縮尺の鹿嶋船の製作がウェスター祭り展示に合わせて進行中)

26年度の活動計画

- ・第2回新屋鹿嶋船制作委員会 平成26年7月8日 事業部制作委員出席(予定)
- ・第1回理事会 平成26年7月10日 事業部理事出席(予定)
- ・(湧水の郷 あらや水祭り 7月27日 保存会が参加予定)
- ・第4回定期総会 7月27日 事業部委員出席(予定)
- ・9月26日～28日のウェスター祭りの写真資料展に縮尺鹿嶋船の製作・展示に参画・参加する(写真等の展示も昨年度同様に参加)。
- ・事業部会議の継続と趣向を変えた鹿嶋祭座談会開催 参画・実施(予定) 以上

広報部会 平成25年度 活動報告

1. ホームページの運用
 - ・ 会議やイベントが行われる度に更新。
2. 「鹿嶋さんニュース」を発行
 - ・ 第7号：平成25年 9月10日 *鹿嶋祭本番を紹介
 - ・ 第8号：平成25年10月20日 *写真展と座談会を紹介
3. 平成25年8月28日（金） 第4回広報部会 開催
 - ・ 広報部長／副部長の選任について
 - ・ 幟旗の作成について
 - ・ スタッフ用衣服の作成について
 - ・ 今後の広報部の取り組みについて
4. 平成26年4月5日（土） 第5回広報部会 開催
 - ・ 「新屋鹿嶋祭」のポスターで、キャッチコピー他を検討
 - ・ 今後の広報部の取り組みについて
5. 平成26年4月10日（木） 第6回広報部会 開催
 - ・ ポスターのデザインについて協議
6. 平成26年4月19日（土） 第7回広報部会 開催
 - ・ ポスターを発注
7. 平成26年5月7日（水） 第8回広報部会 開催
 - ・ チラシを発注
8. 「新屋鹿嶋祭」のポスターとチラシを配布
 - ・ A2ポスター200枚 *4月末日から町内外に掲示
 - ・ A4チラシ 500枚 *裏は同時開催の鹿嶋祭PRイベント
*県庁記者クラブに投げ込み、かなりの取材があった。
 - ・ 発注先：秋美のあらら家プロジェクトを通じて、オンラインで発注
9. 保存会を代表して、地域づくり交付金を申請(5月末)

平成26年度 活動計画

1. 地域づくり交付金が全額交付予定
 - ・ 幟旗を作成(4本=購入済)
 - ・ 去年造った半纏を追加(7枚=合計15枚)
2. ホームページの運用
 - ・ 年度替わりにより、各部の画面を一新。
 - ・ 会議やイベントが行われる度に更新。
3. 「鹿嶋さんニュース」を発行
 - *今年も、必要に応じて全町内回覧をしたい。：交付金で3回、5万円
4. マスコミに売り込む
 - *具体的なイベントが有るとき（歌と太鼓の練習会など）にマスコミに来てもらう。
チラシが有効。
5. 平成27年度「鹿嶋祭」ポスター、チラシを秋美生あらら家に制作依頼（交付金）。

H26-7-11

平成 25 年度活動報告

平成 25 年 2 月 9 日 部会議開催において、現在も取組中の「鹿嶋祭」のルーツ調査活動は引き続き実施していくこととし、以下の項目について協議確定した。

1. 子どもたちの息災を全町挙げて祈るといふ、この誇るべき伝統行事を積極的に対外アピールし、保存会入会のきっかけとなるべく働きかけをする。
2. 長期的目標としては、秋田市の「無形民俗文化財」としての登録を目指すための資料作りの整備を継続する。
3. 平成 26 年度完成目標として保存会推進中のデモ鹿嶋船の製作には、全面的にバックアップをする。

尚 1 項についての具体的な活動項目としては

- 1) H25-7-21 カミーノあきた主催 勝平寺本堂にて秋田歴史発見会「せせらぎ地域発表会」にて「鹿嶋まつりの今昔」と題し、新屋の鹿嶋祭の歴史背景と現状についてのプレゼンテーション実施。
- 2) H25-9-4 勝平小学校の課外授業で「新屋のかしまさん」と題したスラドショーのプレゼン実施。

平成 26 年度活動目標

1. 前年度に引き続いて「新屋の鹿嶋祭」のルーツの調査及び新屋鹿嶋祭保存会の共通認識とするための資料を整備する。
2. H26 年度中の PR 活動実態と予定
 - 1) H26-7-11 秋美大生（アーツ&ルーツ専攻）小阪温視嬢と鹿嶋祭のルーツについてディスカッションしたところ、この祭りの存在意義に相応の知見を有しており、得難き若き人材なので保存会の調査研究部への入会をアタック中。
 - 2) 西部市民サービスセンター サークル活動 生涯学習講座「秋田鈴丈大学」受講生（55 名）より「新屋の鹿嶋祭りの由来について」と題した講演要請があり、H26-7-18 プレゼン実施予定。

以上

鹿嶋祭保存会実技部

平成25年度 活動報告

1.太鼓の練習

(1) 昨年度、日新小学校にて鹿嶋太鼓の合同練習を行い、録音した音をCDに納めて楽譜とともに全町内会に配布した。これにより一定の効果が認められたものの、歌詞が統一されておらないことから必ずしも参考にされずご批判を受けたところもあった。

(2) 鹿嶋祭りの太鼓と歌を正しく継いで行くことは、私たちの使命であります。保存会活動の任務も正にここにあります。郷土新屋の誇るべき伝統行事の守る意味でも歌、太鼓の正調を受け継いでいかなければなりません。無形文化財の絶対条件の一つに伝統文化を正しく伝えている活動の内容が問われます。

そこで各町内の指導的立場にある方々、および子供たちに覚えていただくための練習日を4月20日に予定しましたが、各町内の年度首の各種行事、町内総会、遊山などが予定されていたことから日程の調整が必要となりました。

そこで会場となる日新小学校体育館の使用許可を得てから改めてご案内することとし、5月18日を予定日に調整しました。しかし、小学校運動会の雨天予備日となっていたことから確定するに至らず、今年の練習は中止としました。

平成26年度 活動計画

- (1) 部会会議の定例開催に努め部員同士の懇親を深めます。
- (2) 実技部の課題、テーマに沿った活動を展開します。
- (3) 「正当な歌と太鼓」の研究と普及活動を行います。
- (4) 合同太鼓練習日を来年3月に行います。
- (5) 歌と太鼓の普及を図るため指導者研修会を行います。

議題5. 平成26年度予算

平成26年7月1日～平成27年6月30日

《収入》

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	¥82,307	¥67,758	¥14,549	
負担金	¥66,000	¥66,000	¥0	3,000円X22
会費	¥75,000	¥65,000	¥10,000	1,000円X75名
寄付金	¥0	¥0	¥0	
交付金	¥492,000	¥0	¥492,000	
雑収入	¥200,010	¥200,010	¥0	利子、懇親会会費等
合計	¥915,317	¥398,768	¥516,549	

《支出》

項目	予算額	前年度決算額	比較増減	備考
会議費	¥250,000	¥235,188	¥14,812	総会費、理事会等
事務費	¥30,000	¥15,645	¥14,355	印刷、通信費
部会活動費	¥120,000	¥118,212	¥1,788	
交付金	¥492,982	¥0	¥492,982	内訳は別紙
予備費	¥22,335	¥22,268	¥67	
合計	¥915,317	¥391,313	¥524,004	

平成26年度予算 交付金 内訳

《収入》

項目	予算額	予定	備考
秋田市補助金	¥492,000	¥492,000	地域づくり交付金＝8月中に納金予定
繰入金	¥982		会から繰り入れ
合計	¥492,982	¥492,000	

《支出》

項目	予算額	予定	備考
①額模範的な鹿嶋船の制作(縮小版)	¥295,000	¥295,000	詳細は別紙
②印刷費	¥11,730	¥0	ポスター印刷(200枚)＝平成25年度に支出済
③印刷費	¥8,780	¥0	チラシ印刷(1000枚)＝平成25年度に支出済
④ポスターデザイン料	¥10,000	¥0	平成25年度に支出済
⑤印刷代	¥50,000	¥50,000	広報誌「鹿嶋さんニュース」
⑥備品	¥108,332	¥108,332	半纏(7着)
⑦備品	¥9,140	¥0	幟旗(4本)＝平成25年度に支出済
合計	¥492,982	¥453,332	

収入総額	¥492,000
支出総額	¥453,332
差引残高	¥38,668

新屋鹿嶋祭保存会

議題 6 模範的な鹿嶋船の製作について

平成25年度・新屋鹿嶋祭保存会制作部会(委員会)活動報告

平成26年7月8日

報告 制作部長(制作委員長) 國安 明

- 1・平成25年8月4日(日)ウエスターに於いて「新屋鹿嶋祭保存会第3回定期総会」が開催された。

制作部会の活動方針として、「最も模範的な新屋鹿嶋船」の制作を目的に、その参考資料を収集するため、次のとおりとする

- ① 25年度鹿嶋祭り「鹿嶋船」の写真を各町内に撮影(前後左右)を依頼し提供をお願いし、収集する。
- ② 各町内や個人で所有する「鹿嶋船、鹿嶋祭り」に関係した古い写真の提供をお願いし、収集する。
- ③ 鹿嶋船の制作にあたっては、出来るだけ伝統的な型とする。

- 2・会議開催と協議内容等について

- ① 平成25年9月17日(火)ウエスターに於いて、第6回三役・各部長副部長合同会議が開催された。

協議内容等

- ・10月11・12・13日(金・土・日)にウエスターを会場に開催される「ウエスター祭り」に関連して、写真資料展の展示物の準備、作業日程説明や看板の用意、並びに期間中の展示割当番等について話し合わせ決めた。
- ・平成15年11月開催予定の「鹿嶋祭座談会」の日程と出演するパネラーの候補者等について協議した。

- ② 10月11・12・13日(金・土・日)ウエスターに於いて開催された「ウエスター祭り」展示会場の割当当番をそれぞれ分担した。

- ③ 10月16日(水)ウエスターで第7回三役・各部長副部長合同会議が開催された。

協議内容等

- ・ 「鹿嶋祭座談会」開催に向けてのパネラー候補者とその内容について、また、その後の「座談会報告集」作成等についても合わせて協議をした。
- ・ 「最も模範的な鹿嶋船」の制作構想については、船の大きさ、展示場所、保管場所、制作費用等については制作部会に検討を委ねることとなった。
- ・ その他として、伊藤保存会長からウエスター祭りの結果報告と、事務局から「地域づくり交付金」の購入品目と中間決算報告があった。

④ 10月22日(火)ウエスターに於いて、25年度第3回制作部会議が開催された。

部員16名中13名出席、オブザーバーとして伊藤保存会長、藤枝事務局長、高橋広報部長、舛谷実技部会員、計17名出席。

協議内容

- ・ 8月4日に開催された通常総会に於いて、各部の役員改選については、今までの体制で継続することになり、再任が決定した。(部長:國安明、副部長石黒和雄、柴田茂男)
- ・ 「最も模範的な鹿嶋船」の制作については、個人から提出された古い写真や今年度の鹿嶋祭の各町内から提出された資料をもとに検討、協議を重ねてきたが、船体については概ね同仕様になっているものの、構成する各部については大なり小なりの違いが見られる。このままでは、統一することが難しく「最も模範的な鹿嶋船」として合意出来る見込みが低いこととなった。
現状を打開し、制作に進展させる意味から、イラスト等で船のイメージを作成するこも一つの方法では、となり、心得のある会員実技部舛谷博英氏に依頼することになった。
- ・ 今まで提出のあった写真、資料を参考に協議するなかで、ウエスター祭りの際、展示された「国立歴史民俗資料博物館」に昭和59年に奉納した「新屋の鹿嶋船写真」が今のところ検討資料の中で一番古いと考えられ、大いに参考にすべきであり、保存会が目指す船にふさわしいのではとなり、「国立歴史民俗博物館」(所在地;千葉県佐倉市)に対して関係資料収集について働きかけを試みることになった。
- ・ 船の展示場所については、日吉神社境内か西部市民サービスセンター以外に考えられないのではとなった。
- ・ 制作仕様については、柴田副部長から私案の資料(鹿嶋船制作・展示について)があるとして説明し、終えた。

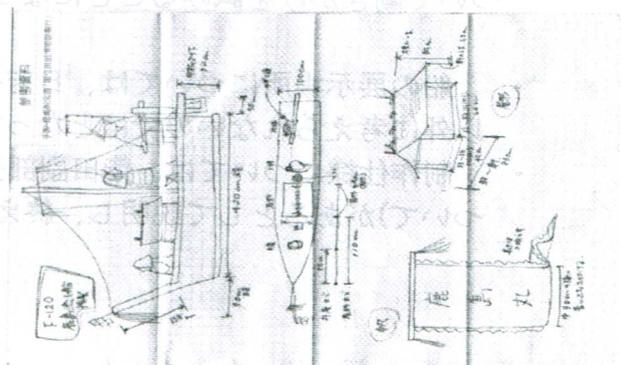
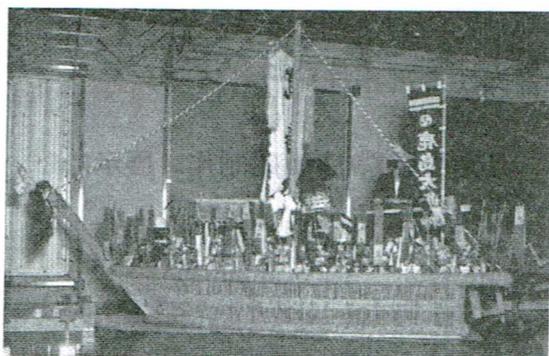
- ⑤ 11月13日、イラストを依頼した舛谷博英氏から「鹿嶋丸図」のメール送信を受けた。
- ⑥ 11月16日(土)ウエスターで、新屋鹿嶋祭保存会・座談会が開催され、部会員が多数出席した。
- 席上、制作部長から、近々「国立歴史民俗博物館長」宛に「新屋の鹿嶋船」について、写真撮影等を依頼する「資料特別利用申請書」を提出する旨が伝えられた。
- ⑦ 12月14日(土)ウエスターに於いて、第4回制作部会議を開催した。
部員16名中、13名出席、オブザーバーとして伊藤会長、藤枝事務局長、高橋広報部長、舛谷実技部会員、計17名出席。

協議内容

- 舛谷博英氏から提供のあった「鹿嶋船のスケッチ」について、現在の新屋鹿嶋祭とその関係資料を調査した中から発想し作図したと報告された。
出席者からは、船の特徴を良く捉えており「最も模範的な鹿嶋船」として相応しいのではとされた。



また、12月初旬、国立歴史民俗博物館長から「新屋の鹿嶋船」データ(DVD)と、同船を寸法取りした手書き図面の送付があった。



- ・ 舩谷氏提供のイラストと比較対照したとき、ほぼ同様の仕様となっておることから、部会では、二つの資料を参考として「最も模範的な新屋鹿嶋船」の形とすることで決定した。後に、当該案で良いか、否かについて理事会と全体会議で協議してもらうこととなった。
- ・ 展示場所については、日吉神社境内か西部市民サービスセンターか、二つに意見が分かれたものの、西部市民サービスセンターとすることとして合意が得られた。

- ⑧ 平成26年2月17日(月)日吉会館に於いて、第8回三役・各部代表者会議が開催された。

協議内容

- ・ 模範的な鹿嶋船の制作具体化について、第4回制作部会議結果を説明した。船の形については、提出案での了承が得られ、また、展示場所は西部市民サービスセンターがふさわしいとなった。
- ・ 今年度の、鹿嶋祭に合わせたイベントの説明と「地域づくり交付金」申請の為の準備等についても協議された。

- ⑨ 3月9日(日)ウエスターに於いて、第3回全体会議が開催された。

協議内容

- ・ 保存会各部からの活動報告に続き、鹿嶋船制作の中間報告と今後の方向性について制作部会から示された案が「最も模範的な鹿嶋船」として了承された。

また、展示場所についても西部市民サービスセンターがふさわしいとなり、その場合、スペースを考慮したサイズ(縮小)とし、設置については、事前にセンターとの折衝が必要であり、制作費用についても「地域づくり交付金」や資金カンパも必要となるのではとの意見も出された。

- ⑩ 3月16日(日)ウエスターに於いて、第9回三役部会合同会議が開催された。

制作部会からは、柴田副部長が出席した。

協議内容

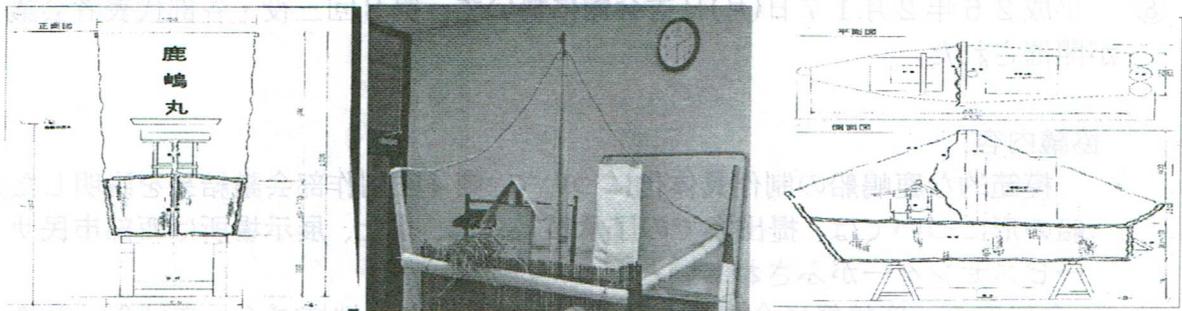
- ・ 「最も模範的な鹿嶋船」の制作と展示活動を目的とした「新屋鹿嶋船制作委員会」(仮称)が立ちあげられる事となり。委員長に制作部会長が指名され、制作部会員が全員メンバーとなる外、部会委員以外の委員については委員長一任とされた。

後日、委員長が別紙名簿を示した。

- ⑪ 5月10日(土)ウエスターに於いて、第1回制作委員会が開催された。

鹿嶋船製作 工程表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
鹿嶋船の計画														
製作委員会開催														
船の製作														
お堂の発注														
搭載人形の製作														
鹿嶋人形の製作														
帆の製作														
船の飾りつけ														



協議内容

- 柴田副委員長から示された私案、上の新屋鹿嶋船制作工程表と図面 2/1 実物大の鹿嶋丸(左側写真参照)が示された。

また、合わせて同氏からは、制作費用(約 260,000 円)の内訳と地域づくり交付金申請書(案)「申請額 152,000 円」について示され説明があった。

- ⑫ 7月3日(木)ウエスターに於いて、第10回三役・部会合同会議が開催された。

協議内容

- 第4回定期総会と理事会の開催についてを議題として協議され、提出議題の一つとして各部からの活動報告と計画案を提出することとなった。

又、当部会で取り組み中の「模範的な鹿嶋船の制作について」も提出議題となる見込みとなった。

関連して、7月26日開催のイベント「あらや水祭り」についての説明と保存会としても強力な協力体制をとることとして協議を終了した。

- ⑬ 7月8日(火)ウエスターに於いて、第2回制作委員会が開催された。

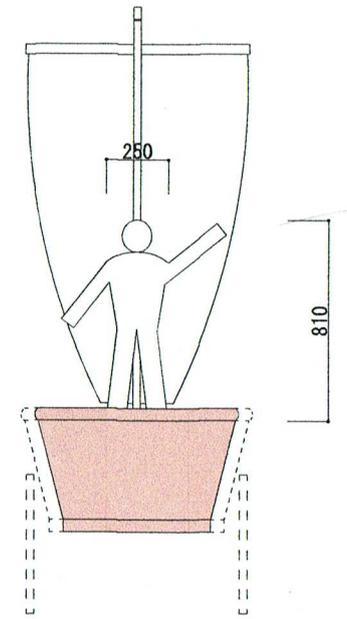
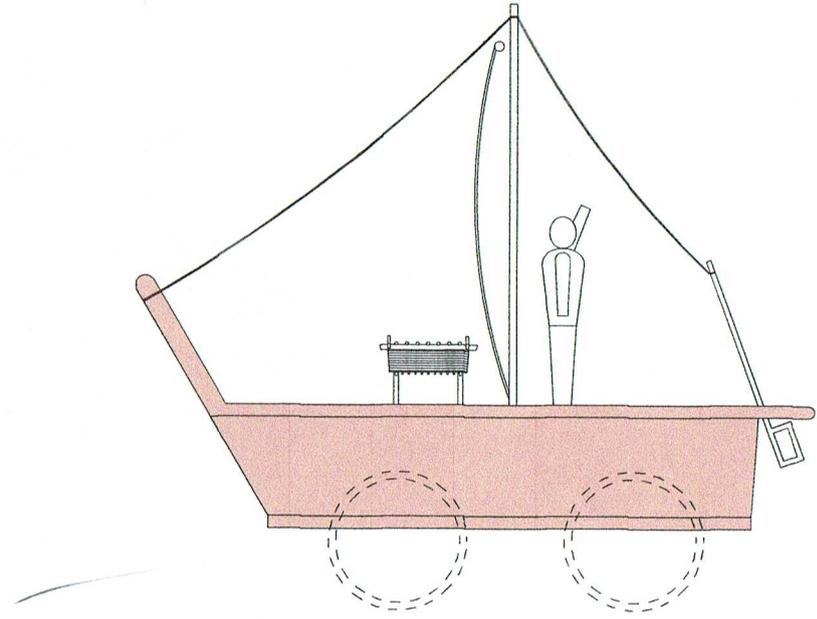
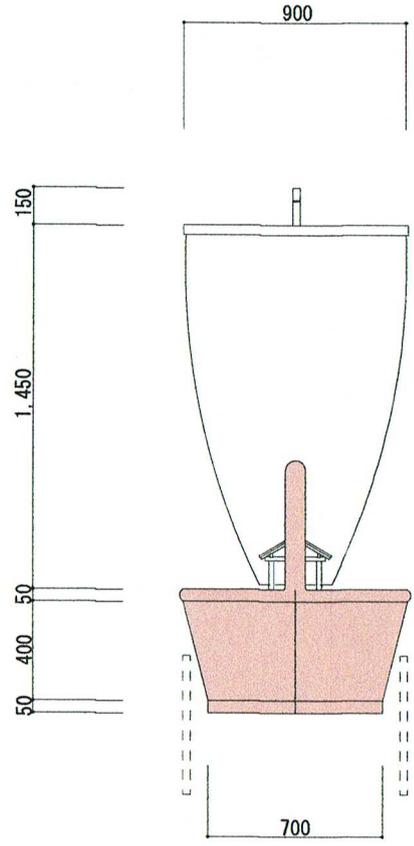
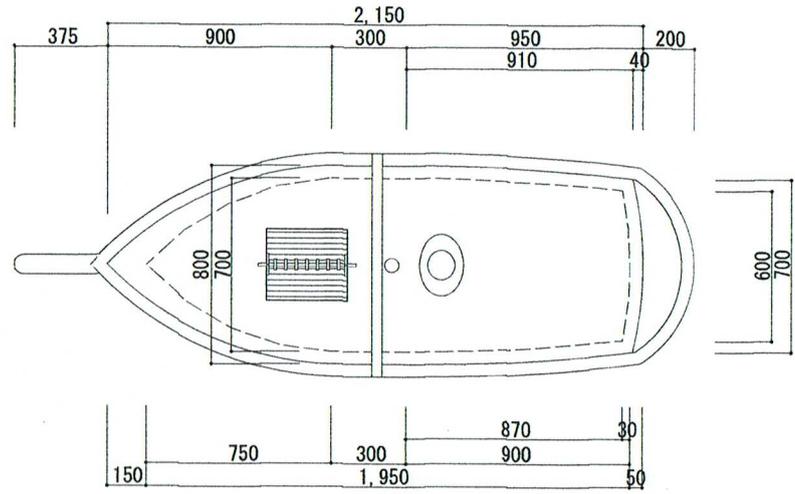
協議内容

- 「最も模範的な鹿嶋船」の制作実現に向け具体的進め方について協議した。
- 制作費用については、第1回制作委員会で柴田副部長の試算では総額 260,000 円としていたが、第2回制作委員会では 290,000 円に変更となった。

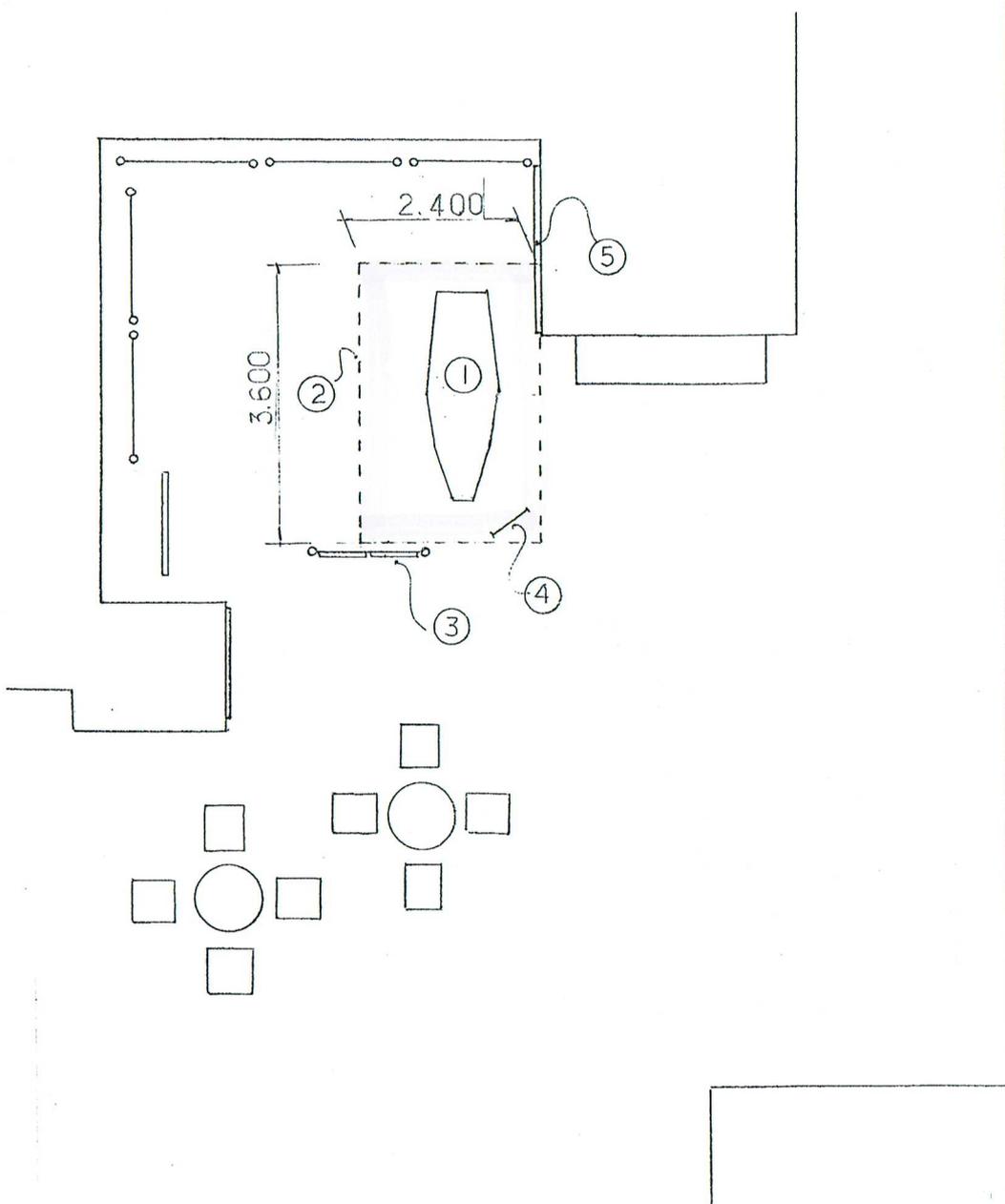
そのことは、内訳書の搭載人形 15,000 円と試算していたが、60,000 円に変更しなければならない事情からである。と説明があり了承された。

秋田市新屋鹿嶋祭り「鹿嶋船」製作図 1:30

平成26年 6月 舩谷



2F 鹿嶋船配置図



凡例

	品名	寸法
①	鹿嶋船	L=2300~2800 B= 900 H=2,000
②	木柵	H= 700
③	鹿嶋さんの銘板	
④	説明スタンド	
⑤	鹿嶋祭りの由来	900 × 1,800
		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px; vertical-align: middle;"></div> 占用面積 3,600 × 2,400 = 8,640 m ²

新屋鹿嶋祭保存会 役員名簿

役 職	氏 名	町内会等	任 用
会長	伊藤富美雄	大川町	留任
副会長	鈴木富夫	愛宕町	新任
副会長	富田 漣	十條団地	留任
副会長	海風敏夫	下表町	留任
総務（事務局）	藤枝隆博	大川町	留任
総務（会計）	大塚正一	緑 町	留任
監事	小野良治	愛宕町	留任
監事	渡辺憲一	笹 町	留任
顧問	石澤千秋	日吉神社	新任
理事	赤坂光一	日吉神社	留任
理事	斎藤政雄	日吉神社	留任
理事	小林敬一	栗田養護学校	留任
理事	小島初男	緑 町	留任
理事	川田直政	北新町	留任
理事	南波郁夫	南新町	留任
理事	高橋大和	関 町	留任
理事	富野勝輝	愛宕町	新任
理事	安田 正	日の出町	留任
理事	金澤國太郎	比内町	留任
理事	岡田徳美	沖田町	留任
理事	石田 元	南団地	新任
理事	遠藤一記	田尻沢町	留任
理事	今野周次郎	高美町	留任
理事	高橋昭一	駅前町	留任
理事	高橋 伸	上表町	留任
理事	小玉隆太郎	中表町	留任
理事	高橋 勝	十條団地	留任
理事	大塚誠智	下表町	留任
理事	狩野紀男	大川町	留任
理事	佐々木宏治	笹 町	留任
理事	藤田友好	市営住宅	留任
理事	阿部民樹	関町後	留任

会員	鈴木恭治	沖田町
会員	山本義臣	下表町

新屋鹿嶋祭保存会会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、「新屋鹿嶋祭保存会」と称し、事務所を秋田市新屋日吉神社会館（秋田市新屋日吉町10-67）に置く。

(目的及び組織)

第2条 本会は、文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である「新屋鹿嶋祭」の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする。本会は、これに賛同するものをもって組織する。

(事業)

第3条 本会は、前項の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 「鹿嶋祭」の保存及び伝承、調査、研究に関すること。
- (2) その他必要な事業。

(構成)

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 新屋地区町内会（以下「町内会」という）及び学校。
- (2) 本会の目的及び趣旨に賛同する団体及び個人。
- (3) その他、役員会又は総会で認めた者。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 総務 2名（会計担当1名含む）
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2名

(顧問)

第6条 保存会に顧問を置くことができる。

(役員等の任務)

第7条 役員等の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、保存会を代表し、会議を招集する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故等あるときはその職を代行する。
- (3) 総務は、事務、会計を担当する。
- (4) 理事は、保存会の運営を企画執行する。
- (5) 監事は、年に1回以上の会務及び会計の監査を行う。
- (6) 顧問は、会長の諮問に応じ、随時指導助言をする。

(役員等の選出)

第8条 役員は次により選出する。

- (1) 役員は、総会において選出する。
- (2) 顧問は、総会において選出し、会長が委嘱する。

(役員任期)

第9条 役員任期を次のとおりとする。

- (1) 役員任期を2年とし、再選を妨げない。
- (2) 役員欠員が生じた場合は、補欠を選出することができる。その任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 保存会の会議は次のとおりとし、会長が召集する。

- (1) 通常総会は、年に一回開催し、会務報告、事業計画、予算決算、会則等に関するものを審議し、総会出席者の過半数の賛同を得て承認を得て決議する。
- (2) 必要に応じ臨時総会を開催することができる。
- (3) 役員会は、必要な都度開催し、総会に必要な資料調整及び保存会の運営、事業に関する事項を協議する。

(部会)

第11条 保存会に次の部会を設ける。

- (1) 事業部
- (2) 広報部
- (3) 調査研究部
- (4) 実技部
- (5) 製作部

(会費)

第12条 保存会の経費は、町内会及び学校からの負担金、会費、助成金、寄付金、その他をもって運営し、内容は次のとおりとする。

- (1) 負担金は、年間3,000円とする。
- (2) 会費は、団体及び個人から年間1口1,000円以上とする。

(会計年度)

第13条 会計年度を次のとおりとする。

- (1) 保存会の会計年度は、7月1日から翌年6月30日までとする。

(事務簿)

第14条 保存会に、次の帳簿等を備える。

- (1) 会則、会員名簿、役員名簿、会計簿、証拠票綴、議事録、備品台帳、諸文書綴
- (2) その他、保存会に関連する資料。

附 則 この会則は、平成23年11月20日より実施する。